
ごめんね、お母さん。

みづき海斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「めんね、お母さん。

【著者名】

みづき海斗

【ZPDF】

Z0553P

【あらすじ】

あの日の空は青かった。それは誰もが永遠のものだと信じていた。

(前書き)

「2010夏のホラー」の直後に書いたものです。

『ごめんね、お母さん。

あの田の空は真っ青で雲ひとつなかつたね。

お母さんは、町内会の寄り合いで家を留守にしていたね。

その時。

大きな太陽が空で爆発したんだよね。

ごめんね、お母さん。

街ごと、人ごと、私は死んでしまったの。

ごめんね、お母さん。

お腹の命も一緒に、きつともしかしたら、お母さんも何処かで・・・

・・・

だから、私は叫び続けるよ。

『ごめんね、お母さん。』

つて。

日本中の子どもたちが、世界中の子供たちが叫んでいるよ。

『ごめんね、お母さん』

つて。

この世に戦争がある限り、この世に人の手で造られた『果て世』
がある限り。

戦争はいけないよ、つて気付くまでどれくらい時間が必要なんだ
ううね。

それまで、私は叫び続けるよ。

『ごめんね、お母さん』

つて。

お母さんも怒り苦しんでるだろ？

日本中の母親たちが、世界中の母親たちが怒り苦しんでいるんだ

うう。

『子供を返せ。私を返せ。』
つて。

忘れてはいけないよ、あの日のことを。

爆発した太陽。

(後書き)

複雑な心境でサイトじゃ出来なかつたものです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0553p/>

ごめんね、お母さん。

2010年11月21日22時28分発行